



図書館ニュース

倉吉東高校図書館

2011年4月

No. 1

図書委員会が動き出しました。委員長・河本泰岳さん(3-3)、副委員長・松本郁美さん(2-4)を中心に、広報・企画・ゼミの3つの班に分かれて活動します。自由な発想で図書館を盛り上げてくれることを期待しています。

◆1年生、図書館の達人を目指して

1年「情報C」の授業で図書館オリエンテーションを実施しました。2時間かけて図書館の使い方、情報検索の仕方を学びます。

図書館での1時間目は「本を借りてみよう」。図書主任の岩間先生が「3年間でたくさん本を読んでほしい」というメッセージと共に、現在読んでおられる4冊の本を紹介。次に、司書・宮脇が倉吉東高に関連した本のブックトークと図書館利用の仕方を説明しました。



本の紹介をする岩間先生



資料相談は司書・宮脇まで

■『選択の科学』(シナ・アイエンガー/著)

動物園と大自然アフリカの象、寿命を比べてみたら...

■『生物と無生物のあいだ』(福岡伸一/著)

2年生必読図書。生命とは何か?に迫る

■『銀の匙』(中 勘助/著)

『奇跡の教室 エチ先生と『銀の匙』の子どもたち 伝説の灘校国語教師・橋本武の流儀』も合わせて読むと面白い

■『14歳からの社会学』(宮台真司/著)

私たちが生きている社会はどんどん変わっていく。先の予測がつかない。いかに生きるべきか...

■『武道的思考』(内田 樹/著)

著者講演会に来ていただいたのは2年前。「スキャンする力」、覚えていますか? 197pをご覧ください。

■『どがでもバンドやらいでか』(丁田政二郎/著)

著者は本校の同窓生です。25年前の倉吉を舞台にした青春小説。倉吉東高の学園祭は今も昔も熱い。

授業担当の仲田先生と浦川先生を中心に、クラスによっては小谷先生、川北先生、イレイン先生、永江先生も飛び入り参加して、大型絵本の読み聞かせも行われました。「えっ、高校生に絵本?」「なんで『たまごにいちちゃん』?」と、「?」が飛び交う中で先生方が登場人物になりきって熱演。1年生は笑いと共に緊張も解れたようです。

2時間目は「本を探してみよう」。情報処理室で、倉吉東高図書館と鳥取県立図書館のHPから蔵書検索してみます。



あきやまだし/作・絵 鈴木出版

あなたも図書館の達人に! まずは図書館に来ることが達人への第1歩です